

○「話し合いの継続から動きを」

(京都府宮津市 日ヶ谷地区連絡会議)(平成31年度第3回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年8月26日(月) 15:00~17:00
- 場 所: 日ヶ谷集会所
- 出席者: 石田委員、荻野推進委員
協力員4人、事務局2人
※委員2人、委員以外6人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 若者が農業に興味をもっておらず、協力が得られない。高齢化に伴い、共同作業の負担が大きくなっている
- 水路整備は、耕作者以外の支援を受けている
- 栽培は、自家用・縁故米、加工味噌材料、チソ栽培(1人)、ハウス採種(1人)

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 利用状況調査報告会
- 意見交換 ・立区協力員相談;最近、サル被害が頻繁におき生産意欲をなくしている状況
群れへの対策は行われているが、少数の被害対策はない
署名活動をしてでも対策を申し入れたいが、どうしたらよいか
・活動事例;立命館大学が日ヶ谷で水稻栽培。峰山町の醸造所に委託して味噌作りも。
・日ヶ谷ごぼうの栽培継続は;落山協力員(80歳台)が栽培継続中
- 活動目標 ・味工房の継続、中山間事業の継続



4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援